

徳次郎町西根地区における大谷石建物の外形と町並みの構成  
栃木県宇都宮市を中心とする大谷石建造物に関する研究(4)

正会員 ○ 稲川芽衣\*  
同 安森亮雄\*\*  
同 佐原謙介\*\*\*

大谷石 徳次郎石 石蔵  
屋敷 町並み

1. 序 栃木県宇都宮市徳次郎町の西根地区には大谷石や徳次郎石等の凝灰岩<sup>注1)</sup>を用いた建物が多く現存しており、特徴的な町並みが形成されている。この地域は徳次郎石の産地であり、火事が頻繁に起きたため防火性の高い石蔵などの大谷石建物が多く建造され、また、石工を生業とする住民も多かったため特徴的な構法や意匠の建物が見られる。しかし、近年では活用機会が減ったことや所有者の世代交代等により、こうした大谷石建物が取り壊されることもある。これまで筆者らは既報<sup>注2)</sup>において、単体の大谷石蔵の増改築と屋敷の構成について報告した。本研究では大谷石建物が密集する集落を調査し、地域の素材と技術による意匠の特徴を備えた外形と町並みの構成を明らかにすることを目的とする<sup>注3)</sup>。

2. 西根地区及び調査の概要 宇都宮市中心部から北西に約10kmに位置する西根地区には、大谷石建物のある22の敷地があり、これらの敷地に建つ99棟の建物のうち約6割の62

棟が大谷石建物である(図1)。これら大谷石建物の実測、写真による記録及び所有者へのヒアリング調査を行った<sup>注4)</sup>。

3. 大谷石建物の外形構成

3.1. 大谷石建物の用途・構法・特徴 大谷石建物の外形構成について母屋、離れ、蔵といった建物用途と、積石、張石、基礎利用といった大谷石の構法で整理した(表1)。母屋は基礎・下部に大谷石を利用したものが多く(6/10棟)、蔵は積石(29/50棟)、次いで張石が多く見られた(15/50棟)。また石の仕上げは、つるはしが最も多く見られ(表2)、西根地区の大谷石建物は、採掘方法がつるはしからチェーンソーに変わった昭和30年以前に建てられたものが多いことを示している。窓の装飾は、庇・彫刻・石戸が揃ったものが多かった(表3)。石の目地は多くが1尺×3尺の破れ目地であったが、張石では縦横張りが5棟見られ、これらは木造の寸法に石を割り付けたため定尺ではない(表4)。石の種類は、徳次

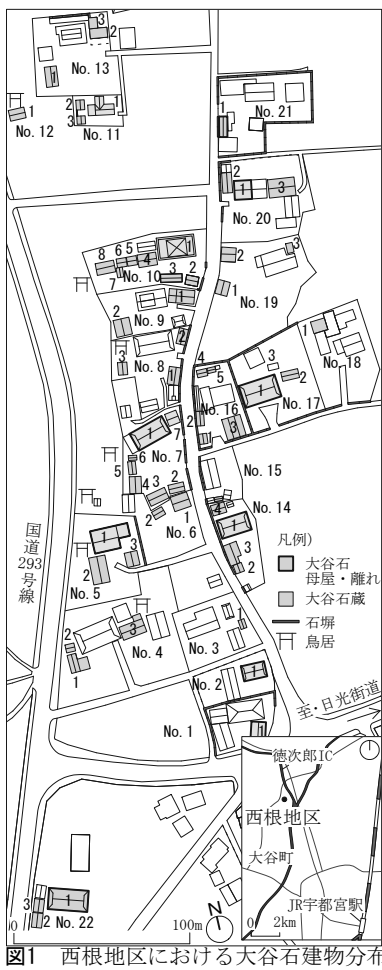


表1 大谷石建物の用途と構法 (62棟)

用途	住宅(12)		蔵(50)
	母屋(10)	離れ(2)	
全体積石(31)	1	1	29
(49)張石(18)	2	1	15
一部基礎下部(12)	6	0	6
(13)一面(1)	1	0	0

表1注)表中の数字は該建物数を表す(以下同様)

表2 石の仕上げ (62棟・重複あり)

つるはし	チェーン	ピシャン	表面研磨
(ツ)	(チ)	(ビ)	(表)
(24)	(10)	(14)	(14)

表3 窓の装飾

庇	彫刻	石戸	オーダー柱	アーチ
○	○	○	○	○

表4 石の目地 (62棟)

目地	縦横張り(破)		縦(縦)
	破れ目地	縦	
目地	(52)	(5)	(5)

表5 石の種類

徳次郎石(徳)	36
大谷石(大)	22
船生石(船)	2
新里石(新)	1

表6 屋根形状

切妻(切)	54
入母屋(入)	6
片流れ(片)	1
方形(方)	1

表8 大谷石建物の外形構成の類型 (62棟)

No	用途	構法	石の仕上げ	窓の装飾	石の種類	正面入口	屋根形状	外形構成の類型
22-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	基礎石住宅(a)
14-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	2階建て張石住宅(b)
17-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
2-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	平屋積石蔵(A)
11-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
5-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	平屋基礎石蔵(B)
10-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
7-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	2階建て積石蔵(C)
20-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
13-2	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	2階建て張石蔵(D)
5-3	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
8-2	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	基礎石住宅(a)
11-3	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
6-2	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	2階建て張石住宅(b)
16-5	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
9-2	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	平屋積石蔵(A)
17-3	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
10-2	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	平屋基礎石蔵(B)
7-6	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
13-3	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	2階建て積石蔵(C)
7-4	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
13-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	2階建て張石蔵(D)
19-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
4-3	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	基礎石住宅(a)
3-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
10-7	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	2階建て張石住宅(b)
10-8	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
14-2	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	平屋積石蔵(A)
6-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
10-3	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	平屋基礎石蔵(B)
16-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
4-2	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	2階建て積石蔵(C)
5-2	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
10-4	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	2階建て張石蔵(D)
9-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
22-2	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	基礎石住宅(a)
19-3	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
11-2	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	2階建て張石住宅(b)
16-2	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
14-3	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	平屋積石蔵(A)
8-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
7-3	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	平屋基礎石蔵(B)
16-3	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
18-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	2階建て積石蔵(C)
20-3	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
14-4	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	2階建て張石蔵(D)
12-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
15-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	基礎石住宅(a)
10-6	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
20-2	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	2階建て張石住宅(b)
10-5	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
7-2	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	平屋積石蔵(A)
8-3	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
16-4	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	平屋基礎石蔵(B)
4-1	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
22-3	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	2階建て積石蔵(C)
17-2	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	
7-5	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	2階建て張石蔵(D)
7-5	母屋	1-1	1-1	○	徳	入	切	

Composition of Oya-stone Storehouse and Townscape  
A Study on Building of Oya-stone in Utsunomiya City(4)

INAGAWA Mei, YASUMORI Akio  
SAHARA Kensuke

郎石、次いで大谷石が多く見られた(表5)。また、屋根形状は切妻が多く(表6)、正面入口は平入りが大半を占めた(表7)。

**3.2. 大谷石建物の構成類型** 大谷石建物を用途、階数、構法で整理し、6つの外形構成の類型を導いた(表8)。住宅は、平入りの入母屋で基礎のみに大谷石を利用した母屋が多かった(基礎石住宅, a)。また、2階建ての母屋や離れの全体に石を張った住宅(2階建て張石住宅, b)も見られ、これらは全て徳次郎石であった。蔵は、装飾の少ない平屋で積石の蔵(平屋積石蔵, A)が多く、この中には正面のみビシャン等の仕上げをし、側面はつるはしのままで、仕上げを切り替えるものがあつた。また、平屋で石の一部利用の蔵は大谷石のものが多かった(平屋基礎石蔵, B)。2階建ての蔵では積石と張石がほぼ同数見られ、前者は平入りで正面入口に庇が付き、2階に窓が複数あるものが多く見られた(2階建て積石蔵, C)。後者は妻面に庇・彫刻・石戸が揃う豪華な窓が多く、その大半が徳次郎石であり、その中でも石瓦の蔵には縦横張りの目地が集中していた(2階建て張石蔵, D)。

**4. 屋敷の構成** 各敷地における大谷石建物の配列の特徴を検討するため、敷地が街道と側道のどちらに接道するか、また、大谷石建物が敷地の前方や後方のどこに配置されているかを検討した(表9)。街道に面する敷地は全て前方に大谷石建物があり、前方に集中する街道前方型(ア)と前方から後方まで奥行きのある街道奥行型(イ)が見られた。

**5. 大谷石建物のある町並みの構成** ここまで検討した大谷石建物(3章)と屋敷(4章)の構成をもとに街道全体の構成を検討し、両者の傾向が重なる特徴的な町並みを見出した(図2)。街道西入口部(I, No. 1, 2)は前方(ア)に基礎石住宅(a)が建つが植栽で見えない部分がある。街道西中央部(II, No. 7-10)は、前方は平屋積石蔵(A)と2階建て積石蔵(C)が、後方はシンプルな造りの平屋積石蔵(A)と装飾の多い2階建て張石蔵(D)が混在し、さらに屋敷奥には祠や鳥居が見られ、奥行(イ)方向の街並みが形成されている。街道の西側は雑木林が広がり、奥行きのある敷地形状であることが、こうした特徴を作り出していると考えられる。街道東中央部(III, No. 14-16)は石塀と連続する建物が複数あり、大谷石建物が街道沿いに集中し、華やかな装飾が特徴の2階建て張石蔵(D)が見られ、西根地区の街並みの中心となっている。

部(II, No. 7-10)は、前方は平屋積石蔵(A)と2階建て積石蔵(C)が、後方はシンプルな造りの平屋積石蔵(A)と装飾の多い2階建て張石蔵(D)が混在し、さらに屋敷奥には祠や鳥居が見られ、奥行(イ)方向の街並みが形成されている。街道の西側は雑木林が広がり、奥行きのある敷地形状であることが、こうした特徴を作り出していると考えられる。街道東中央部(III, No. 14-16)は石塀と連続する建物が複数あり、大谷石建物が街道沿いに集中し、華やかな装飾が特徴の2階建て張石蔵(D)が見られ、西根地区の街並みの中心となっている。

**6. 結** 本研究では、まず大谷石建物の外形を検討し、基礎に大谷石を用いた基礎石住宅(a)、華やかな装飾や石瓦が特徴の2階建て張石蔵(D)などの用途や構法に応じた外形構成の類型を明らかにした。また、街道沿いの大谷石建物の配置により前方に大谷石一部利用の母屋(a)が並ぶ街道西入口部(I)、奥行きのある建物配置の街道西中央部(II)、装飾の多い蔵(D)により街道沿いに大谷石の連続的なファサードが形成され街並みの中心となっている街道東中央部(III)といった3つの特徴的な町並みを明らかにした。

注1) 宇都宮市近辺で産出される凝灰岩は産地によって大谷石や徳次郎石などの呼び名があるが、本研究では総称して大谷石と呼ぶ。  
 注2) 佐藤綾美、小野村一弥、安森亮雄：建築部位の付加・変更からみた増改築された大谷石蔵の構成、日本建築学会大会学術講演梗概集(F-2)p43-44、2011  
 小野村一弥、佐藤綾美、安森亮雄：増改築された大谷石蔵を持つ屋敷の構成、日本建築学会大会学術講演梗概集(F-2)p45-46、2011  
 安森亮雄、小野村一弥、佐藤綾美：増改築された大谷石蔵の空間構成、日本建築学会大会学術講演梗概集(F-2)p. 47-48、2011  
 注3) これまで西根地区では、ワークショップによる景観評価(木谷統子、藤本信義：集落形成のためのガイドライン策定に関する研究-栃木県宇都宮市徳次郎町西根地区を事例として-その2、日本建築学会学術講演梗概集(F-2)p455-456、1998)、構造形式等の基礎調査(河原原、奥富利幸：徳次郎町下町、西根地区における蔵に関する考察、小山高専卒業論文抄録、2006)があつたが、今回のように意匠的な分析を町並み全体で行ったものはない。  
 注4) 本調査は、NPO法人大谷石研究会(宇都宮市景観整備機構に指定)による西根地区石蔵調査の一環として実施した。

表9 屋敷における建物配置 (21敷地)

建物配置 接道関係	前方(7)	中間・後方(5)	全体(9)
街道に面する 玄関トランス(11)	No. 14 No. 2 No. 21 No. 15		No. 6 No. 10 No. 8 No. 19 No. 7 No. 20 No. 9
側道に面する 玄関トランス(3)	No. 1 No. 3	街道奥行型(イ) (8)	No. 16
街道に面する 旗竿地(3)	No. 5 No. 11	街道前方型(ア) (6)	
側道に面しない(7)	No. 4 No. 18 No. 12 No. 17	側道後方型(エ) (5)	

注) 敷地を街道側、もしくは玄関側から3つに分けた

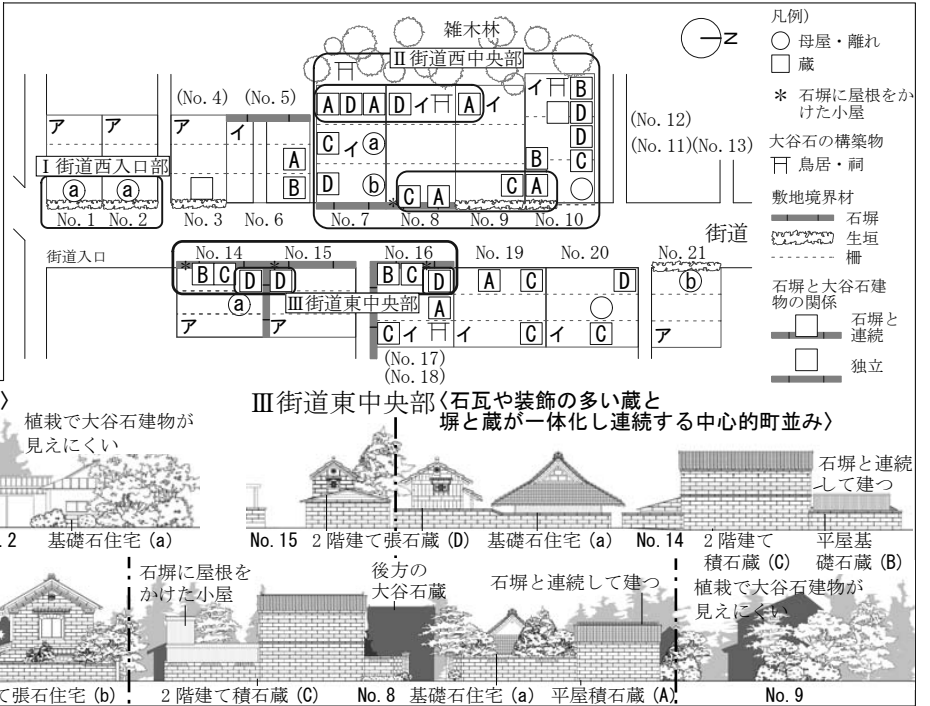


図2 西根地区における大谷石建物による町並みの構成 (注)表中の記号は表8,9に準ずる。また、街道に面しない敷地は(No.)と表記した。

\* 宇都宮大学大学院工学研究科 大学院生 \* Graduate Student, Graduate School of Eng., Utsunomiya University  
 \*\* 宇都宮大学大学院工学研究科 准教授 博士(工学) \*\* Assoc. Prof., Dr.Eng., Graduate School of Eng., Utsunomiya University  
 \*\*\* フリーランス \*\*\* Freelance